

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和6年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		273	138	50.5%
	延べ利用者数（人）		3,438	1,697	49.4%
	事業開催 回数	必須事業（回）	243	124	51.0%
		自主事業（回）	500	292	58.4%
収支状況	収入	指定管理料（円）	14,668,000	7,334,000	50.0%
		利用料金収入(売上)（円）	2,922,300	1,442,450	49.4%
		自主事業収入（円）	1,675,000	1,209,105	72.2%
		その他の収入（円）	-	-	-%
	収入計（円）…①		19,265,300	9,985,555	51.8%
	支出	人件費（円）	12,122,000	6,120,578	50.5%
		維持管理経費（円）	5,468,650	2,920,368	53.4%
		自主事業関係経費（円）	356,000	243,800	68.5%
		その他の支出（円）	-	-	-%
	支出計（円）…②		17,946,650	9,284,746	51.7%
	収支（①－②）（円）…③		1,318,650	700,809	53.1%
	諸経費（本社運営費など）…④		-	-	-%
	総収支（③－④）（円）		1,318,650	700,809	53.1%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数については、計画どおり開館しました。 利用者数については、前年度上半期と比較し若干減少していますが、ほぼ同水準を維持しています。	【事業の実施状況について】 必須事業については、コロナ禍以前の事業内容に戻り3センター合同活動や課外活動も行いました。 自主事業については、3センター合同企画の実施を含め、継続事業も安定しており、参加者も順調に増加しています。	【収支状況について】 必須事業、自主事業の総収支状況については、計画値の半数を越えて順調に増加しました。 支出については、自主事業の参加者の増加に伴い経費の増加がありました。 下半期も収支のバランスの適正化に努めます。
---	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【会館日数・利用者数について】 計画どおりに開館し、利用者数もほぼ計画値の水準となっています。引き続き、利用者の増加に努めてください。	【事業の実施状況について】 必須事業については、3センター合同事業や利用者に人気の課外活動が取り入れられています。 自主事業については、事業が安定しており、参加者の増加が図られています。引き続き、利用者のニーズに応えた事業展開に取り組んでください。	【収支状況について】 自主事業については、計画値の半数を大きく超えています。引き続き、経費の節減に努め、計画的な支出となるよう心がけてください。
---	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的 な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・ 人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数 6回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100%	人員配置計画	100% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
必須事業については、コロナ禍以前の状態に戻り、3センター合同活動や課外活動、ボランティア、職場体験の受入れなど、落ち着いた環境の中で事業の展開ができました。介護保険への移行もなく新規利用者也増加しました。毎日行っている介護予防体操や脳トレ体操が要因の一つになっています。また、利用者の生きがいややりがい、楽しみになる活動プログラムの組み立て、要望を取り入れることも重要であり、今後、更に喜んでいただけるセンターを目指します。 自主事業については、3センター合同事業として「げんき応援祭」、「げんき応援ツアー」、「健康講座」を開催しました。いずれのイベントも振り返りを行い、次回も市民の皆様に喜んで参加していただけるよう努めていきます。通常の講座についても参加者の増加が見られました。参加者の少ない講座についても見直しを行っていきます。会話の中から課題を探り、新規講座の立ち上げにも力をいれていきます。
所管課による所見（指摘事項など）
コロナ禍以前の状態に戻り、ボランティアや職場体験の受入れなど、利用者の受入環境の安定化が伺えます。介護予防体操や脳トレの効果もあり、介護保険に移行する利用者がいなかったことは評価できることです。利用者の要望を取り入れたプログラムの企画や見直しを行うなど、地域の福祉拠点としての取組を心がけてください。